

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	同志社大学	整理番号	1-4-037
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	大学コミュニティーの創造 —コミュニケーション・デバイドの克服—		
申請単位	大学全体		
申請担当者	百合野 正博		
<p>(取組の概要)</p> <p>人がある特定のグループに所属することで、他のグループとの間に生じる接触機会の減少を「コミュニケーション・デバイド」という新たな概念で捉え、キャンパスというコミュニティーを自覚的に形成していく行為をつうじて、現代の大学生が共通的に抱える課題を、「インキュベイト」「共存・交流」「成長・拡がり」の3つのプロセスで克服させていく。決してお仕着せではなく、学生の自律的成長を促し、その成果を再びコミュニティーに還元させる試みである。本プロジェクトの最大の特徴は、「学生が学生を巻き込む」ことを企図している点にある。支えられる側の学生はもちろん、むしろ支える側の学生の教育効果に力点を置いている。具体的には「啓発支援」「障がい学生支援」「異文化交流促進」の3つの領域で学生の主体性を引き出し、これらを推し進めるため、学生のニーズによって動くオフィス「学生支援センター」を設立し、「何でも相談」から、一定の権限を与えられた事務職員が「リアルタイム」に「ワンストップ」で学生を支援する体制を確立した。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組では学生の現状における重要課題としてコミュニケーション・デバイドを捉えております。学生の自主性を重んじながら、大学生としての成長初期に手助けをする組織を作り、異種の学生が共存交流しながら成長することによりコミュニケーション・デバイドを克服してゆけるような「大学コミュニティーの創造」をめざしております。この計画は大学本来の姿に正面から取り組んでいるものとして評価できます。ただ、発足後2年ということなのでその効果については今後の評価を待つべく、実施過程で起こる様々な困難や問題点に対処することにより本計画がさらに洗練されたものになることを期待します。</p>			